

ベネッセSTEAMフェスタ2022

プレインタビュー 第3回

全国の中高生が探究や研究の内容を発表し、意見を交換して、多様な人と学び合う「ベネッセSTEAMフェスタ」。
3月19日(土)26日(土)の開催に先駆けて、エントリーしたチームを紹介します。

宮城県仙台第三高校

チーム名 **しろごはん** 発表タイトル「しかくトイレ」

誰もが利用OK！オールジェンダートイレを自分たちでデザイン

Q. 探究テーマを選んだ理由は？

メンバー まず、ジェンダー問題に関心のある生徒が集まり、「なぜ、性別によって制服が違うのか」「どうして、男性は青、女性は赤という色分けが多いのか」など、各自が抱く課題意識や疑問を出し合いました。その中の1つが、「性的マイノリティの人たちは、公共トイレに使いにくさを感じているのではないか」という疑問です。インターネットで調べると、海外では性別にかかわらず利用できる「オールジェンダートイレ」が普及していることを知りました。でも、日本では多くの人が知りません。そこで、自分たちで画期的なオールジェンダートイレをデザインすることとしました。

Q. 探究の内容や発表の見所を教えてください！

メンバー 初めに、校内でアンケートを行い、オールジェンダートイレに対する意識調査を行いました。パソコンで結果をまとめると、「安全性に問題がありそう」「ほかの利用者が気になる」などのマイナス意見が少なくありませんでした。それらの解決を目指すアイデアをメンバーで出し合い、オールジェンダートイレをデザインした経験のある日本の建築士にインターネットを通じて連絡し、アドバイスもいただきました。

そうしてデザインしたのが、「しかくトイレ」です。名前は、「視覚（見た目）」と「四角（個室の形）」の2つの意味をかけ合わせました。犯罪抑止のため、空間の中心にオムツ替えスペースを設けて人の目が届きやすいようにしたほか、他の利用者が気にならないよう、トイレの個室を隣り合わせにしないようにしました。このデザインへの意見を聞いたアンケートでは、対象を校外に広げて実施しました。性的マイノリティの方々も含めて、多くの人から「利用したい」という声をいただきました。

Q. フェスタへの期待を一言！

メンバー 私たちの発表を通じて、同年代の人たちにジェンダー問題に関心を持ってもらえるとうれしいです。ジェンダー問題全般についてどのように考えているのか、「しかくトイレ」に対する意見もぜひ聞きたいです。

チームメンバー



メンバーは、今回参加できなかったメンバーも含め、全4人の高校2年生です。メンバー全員に共通する好きな食べ物をチーム名にしました！

発表スライド

●しかくトイレの特徴

〈空間全体〉

①トイレ空間の入口を2つ作る

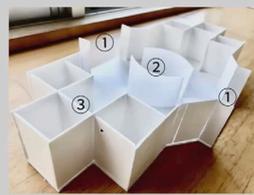
↳ 開放的で入りやすく

②中心にオムツ替えスペースを設置

↳ 家族構成、性別問わず使用可
中心にあることで犯罪防止

③トイレを隣り合わせにしない

↳ 音や匂い漏れの改善



私たちがデザインしたオールジェンダートイレです。アンケート調査で今のトイレの課題を明らかにし、その解決を目指しました。入り口を2つにして開放的な空間にしつつ、安全性を高め、他の利用者の目が気にならないようにしているのが特徴です。



大きな問題から問いを見つけて解決策を考え、活動を学校の外にも広げていく、その行動力がすごいと思いました！

指導担当 鈴木信之先生

当事者の意見も取り入れてデザインを考えようとしているのが素晴らしいですね

ベネッセ事務局 芦野恒輔



今回で13回目となる「ベネッセSTEAMフェスタ」には、全国の中学・高校から110チーム約280人がエントリー。多種多様な分野から発表されます！ 詳しい開催概要は、下のURL、または右の2次元コードからアクセスしてご覧ください。
<https://steamfesta.benesse.co.jp/>

